

平成 26 年度 第 1 回有識者会議における意見（概要）

論点 I：「学術、文化・芸術、スポーツ」施設の集積エリアである東静岡から名勝日本平、さらには三保松原に広がる地域の「場の力」の最大化に向けた地域づくりのあり方

No.	有識者会議委員発言要旨	カテゴリー	意見のまとめ
1	今あちこちにあるそれぞれの施設は『点』であり、今後それを『線』で繋ぎ、さらに『面』にしていく必要がある。	面としての地域づくり	<p>＜「場の力」を高める「面」としての地域づくり＞</p> <p>（「点」から「線」・「面」への地域づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「点」である本地域内の個々の施設を「線」で繋ぎ、さらに「面」とすることで、「場の力」を高めることが可能。 ・ 東静岡、日本平、三保はまだ「点」であるが、<u>施設間の連携強化や公共交通機関、回遊性を持った緑のネットワークの形成により、「線」さらには「面」としていく地域づくりが必要。</u>（谷田地区や清水港ウォーターフロントも含めて「面」を形成。） ・ 彫刻の設置、街路樹等の植栽、花による装飾など<u>ルートの魅力向上</u> ・ ムセイオン静岡などの<u>施設間連携の取組強化</u> ・ <u>「場の力」を引き出し、メッセージとして発信していく土地に根差したエリア名称の重要性</u> ・ 目的を一つにして積み重ねた<u>協働の力は、大きな可能性を持つ「場の力」となる。</u>（清水港のポテンシャル、ベイエリアの可能性） ・ 東静岡から日本平、三保を一体的に捉えたエリアには、<u>日本を代表する風景を眺望でき、緑の回遊性により、非日常性と日常性とが複合された空間づくり</u> ・ 都市公園や自然公園の緑をつなぎ回遊性を持たせることにより、多様化したライフスタイルにあった居住環境と、おもてなし空間としての華やぎ緑化により、来訪者へゆとりや感動の提供が可能。（ストロベリー海岸道路のいちご狩観光施設の景観、久能山東照宮石段下の店舗の質的空間整備、拠点を繋ぐ交通体系の見直し、整備、日本平パークウェイの沿道の維持管理・整備等）
2	三保松原まで広がるエリアはまだ『点』であり、それを『線』、『面』にすることは非常に重要である。全国でも『線』、『面』が形成されているところは、意図的に行われている。	面としての地域づくり	
3	『点』と『点』が結ばれると、今以上に施設間の連携が盛んになるし、人の交流も進んでくる。	面としての地域づくり	
4	清水港の日の出エリア等とどのように『線』で繋いで、『面』に繋いでいくかを議論しながら進めていくことが「場の力」に繋がる。	面としての地域づくり	
5	東静岡から上へ繋ぐルートには、途中途中で彫刻があるとか、花で道の端を飾るとかすると、楽しみが出来る。	面としての地域づくり	
6	『線』で繋ぎ、『面』にするところには、街路樹を植える等、魅力的な何かをやったらよい。	面としての地域づくり	
7	このエリアは静岡市で緑が残された地域。三保松原を含め緑のネットワークを考えていけるチャンス。緑という切り口でこのエリアを、『点』から『線』、『面』に結んでいくと良い。	面としての地域づくり	
8	ムセイオン静岡も非常にパワーを持っているので、これも取り込んでいただきたい。	面としての地域づくり	
9	日本平や三保松原と文化、芸術的な構想が語られていたが、谷田地区のムセイオン静岡を含めた一大文化・芸術・観光ゾーンを考える必要がある。【追加意見】	面としての地域づくり	
10	この地域の「場の力」をどのように引き出し、かつ、いかに人々に訴えていくか、地区のネーミングは非常に重要であり、その土地に根差したものとする必要。	面としての地域づくり	
11	草薙という地名は、もう少し広げて東静岡まで草薙と言えるか？	面としての地域づくり	
12	産学官民による「清水港・みなと色彩計画」による美しいみなとづくりの企業の自主的な取組は、ソーシャルキャピタルを形成している。港周辺で開催されている多彩なイベント、客船クルーズ、産業観光等の観光産業としての発展性、加えてウォーターフロント整備による物流、生産機能とともにバランスの取れたコンパクトでありながらも充実した港の場の力である。何よりも、目的を一つにして積み重ねた人々の協働の力は大きな可能性を持つ場の力として、清水港のポテンシャル、港を核にしたベイエリアの可能性を明記いただきたい。【追加意見】	面としての地域づくり	
13	東静岡周辺地区と有度山（日本平・久能山東照宮）と三保半島を一体的に捉えた面的エリアに日本を代表する風景を眺望でき、緑の回遊性により、住・職・遊・健・知、住む人に、働く人に、訪れる人々にとってもライフイノベーションの契機になる日常性と非日常性が複合された空間づくり、新静岡都市モデルを構想する。【追加意見】	面としての地域づくり	
14	既存の都市公園、自然公園等をこの度のエリアの視点からの住民参加による見直しを行う。これにより、公園機能が再認識され、防災、環境、景観、レクリエーション等の複合的な役割を持たせることができると考えられる。そしてそれらを繋ぎ、回遊性を持たせる緑のしつらえ、誘導により、身近に楽しめる自然や豊かな都市庭園構想により生活の質につながる政策により、多様化したライフスタイルにあった居住環境とおもてなし空間としての華やぎ緑化による来訪者へのゆとり、感動が提供できると考えている。 ・ ストロベリー海岸道路のいちご狩り観光施設の景観	面としての地域づくり	

	<ul style="list-style-type: none"> ・久能山東照宮石段下の店舗の質的空間整備 ・拠点を繋ぐ交通体系の見直し・整備 ・日本平パークウェイの沿道の維持管理・整備等 <p style="text-align: right;">【追加意見】</p>			
15	『点』と『点』を『線』で結ぶという切り口で、脱車（だつくるま）が一つのキーワードになる。この地域一帯を車なしで楽しみながら移動出来る仕掛けができれば良い。東静岡を拠点に、LRTやゴンドラ、辻馬車、バスなど色々組み合わせながら、文化・芸術の拠点到触れながら、食も楽しみ富士山も見られるような仕掛け。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)	<p>(「点」と「点」を「面」に高める公共交通機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本地域内に点在している「点」と「点」を「線」で結ぶという切り口で、「<u>脱車（だつくるま）</u>」がキーワード ・ <u>東静岡を拠点に、観光客も住民も自由に回遊できる公共交通</u> ・ LRT、辻馬車、バス、ロープウェイなど<u>様々な公共交通の組み合わせにより、文化・芸術の拠点到触れながら、食も楽しみ富士山も見られる仕掛け</u> ・ 魅力的な<u>バスの定期的な運行</u> ・ <u>ロープウェイを活用した日本平周辺の交通の円滑化</u> 	
16	日本平の魅力を夢殿で最大限に引き出し、東静岡を拠点に、観光の客も住んでいる人々も自由に回遊できる仕掛けがこの地域一帯には必要。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
17	日本平との連携を考えると、移動手段の問題がある。バスをもっと多くするとかロープウェイを設置する等で、ここはもっと活気が出てくる。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
18	交通網でどのようにして線として繋ぐか、これは魅力的なバスをつかって定期的に運行していけばよい。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
19	日本平の間には、万難を排してロープウェイが必要である。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
20	日本平の頂上から東静岡へ下りていく、また、三保松原に下りていくロープウェイをつくることで、あちこち存在している『点』を繋いでいくことが出来る。お金はかかるが非常に効果は大きい。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
21	清水からのロープウェイ又はゴンドラは是非やっていただきたい。山頂に上ると久能山にもスムーズに繋がりが、歴史の深みを感じられるようにしていただきたい。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
22	日本平と三保とを繋ぐ玄関口は、現在は東静岡ではなく草薙である。これからお金をどれだけ投入するかも含めて、東静岡を玄関口というのには違和感がある。東静岡からのロープウェイは難しくないか。	面としての地域づくり (公共交通ネットワーク)		
23	現代では、高速道路が走り、南北の新しい交通道路が出来、人々が集まり、通行する場になっている意味も大きい。	場の求心性 (交通利便性)		
24	関東と中京、関西の間にあり、交通の利便が良いという静岡県の地政学的優位性を前提として考えた方がよい。(静岡県は非常に交通の利便が良い立地、農業・漁業等山の幸・海の幸に恵まれている)	場の求心性 (交通利便性)		
25	静岡県内だけでなく、外のエリアも含めて、どうやって来ていただくかを頭に入れながら計画をつくったら良い。	場の求心性 (県外からの人の呼び込み)		
26	リニア計画が2027年に完成すると現在の新幹線のサービスは静岡県にとってプラスにはたらく。そういう意味で、外からの客の取り込みは長期的に考えた計画にする必要がある。	場の求心性 (県外からの人の呼び込み)		
27	静岡は大都市と同じことをしても駄目で、静岡らしさ、個性・特徴がある発想を持っていくことが必要	地域の独自性 (静岡らしさ)		
28	東静岡駅から日本平、久能山、三保まで含めると、掘り起こせば多くのものが出てくる。	地域の独自性 (静岡らしさ)		
29	これからは都市間競争の時代、東京では都市再生特区を中心に、この規模の計画(品川、豊洲、横浜など)が多くある。他の計画はどのようなものがあるか見ながら、勝てる計画にする必要がある。	地域の独自性 (静岡らしさ)		
30	既にあるものをイメージしては駄目で、柔軟に考え、今無いものを考えていかなければいけない。	地域の独自性 (静岡らしさ)		
31	日本平(にはほんだいら)という名称は、日ノ本(ひのもと)という大きなまとまりの中心で国を考えると意味で聖徳太子が使った名称だと思われる。	地域の独自性 (日本平・夢殿)		
				<p><地域の特徴や独自性を打ち出した求心力の強化></p> <p>(交通の利便性を活かした地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東西方向、南北方向の<u>交通利便性が高い本地域の優位性を地域づくりに積極的に活用すべき</u>。(中部横断道開通、リニア新幹線供用に伴う新幹線のサービス向上、東名新SIC供用開始など) ・ 計画にあたり、<u>県内だけではなく、県外からどのようにして人を呼び込むかという観点</u>が重要 <p>(地域の独自性の打ち出し・アイデンティティの確立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大都市にはない<u>静岡らしさ、個性・特徴ある発想、地域資源の掘り起こし</u>が必要(都市間競争の時代) ・ <u>日本平山頂・夢殿の整備による本地域の魅力の最大化</u> ・ <u>「文化力」という明確な特色の打ち出し</u>(文化力の拠点、文化の丘) ・ 「文化力」を誰のためにどう発揮するかイメージしておくべき。 ・ <u>歴史の観点</u>を捉える。(登呂遺跡、古事記、万葉集、東海道、家康、駿府、久能山東照宮、廃藩置県後の静岡) ・ <u>恵み(食文化の豊かさ)を文化の一つとして捉える視点</u>(農業、

32	日本平をどのように整備するか、夢殿の役割は非常に大きい。日本平の魅力を最大限引き出しながら、入ってみたい、憧れになるような夢殿を中心とした日本平の山頂を整備することで、その周辺にある文化・芸術施設の位置付けも、もっと上がってくる。	地域の独自性 (日本平・夢殿)	漁業の豊かさ、海の恵み、山の恵み、大地の恵み) ・ <u>子供</u> が楽しめる・学べる環境 ・ <u>学生や留学生などの若者</u> が集い・賑わい・学び・地域とともに活動する環境
33	日本平の魅力を夢殿で最大限に引き出し、東静岡を拠点に、観光の客も住んでいる人々も自由に回遊できる仕掛けがこの地域一帯には必要。【再掲】	地域の独自性 (日本平・夢殿)	
34	静岡が「文化」を取り上げて、東静岡に「文化力」という形で明確な特色を出そうとしていることに賛成である。	地域の独自性 (文化力)	
35	東静岡の空気を拠点として、日本平山頂に至るまでを「文化の丘」という形で明確に位置付けしたらよい。名称(「文化の丘」)は考えた方がよい。	地域の独自性 (文化力)	
36	県と市が揃って計画しているものにはない。大きい構想を、文化というものを掲げ、何か思い切ったアイデアがあっても良い。	地域の独自性 (文化力)	
37	「文化力」を誰のためにどう発揮するかイメージしたい。(「文化力」により県外から多くの観光、移住を呼び込む。文化力により県内の人々が豊かになるなど。どれをどのくらい意識するか。)	地域の独自性 (文化力)	
38	「文化の拠点」の「文化」とは何なのか、誰に向かって発信していくのかを詰めていかないと意見が分散してしまう気がする。また、お金のかけ方、経済効果もそれによって全然違ってくる。	地域の独自性 (文化力)	
39	海に近いところにある程度頑丈な地盤があり、そこに古代東海道が走っていたことから、その時代は安全な場所であった。東静岡には、古代東海道があったという場所性がある。	地域の独自性 (歴史)	
40	焼津や草薙等には、歴史の遺産や記憶がある。場所、地形の問題もある。	地域の独自性 (歴史)	
41	歴史の観点を捉えるとよい。(歴史を大事にした、歴史をより鮮明に研究しそれらを一大絵巻にするような展示の施設があってもよい。登呂遺跡～古事記～万葉集～東海道～家康～駿府～久能山東照宮～廃藩置県後の静岡)	地域の独自性 (歴史)	
42	恵み(海の恵み、山の恵み、大地の恵み)の豊かさを文化の一つとして捉える視点があるとよい。恵み(豊かな食文化)そのものを集約できるような施設なりコンセプトが成り立つ。	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
43	海の恵みという視点も取り入れていただきたい。	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
44	関東と中京、関西の間にあり、交通の利便が良いという静岡県の地政学的優位性を前提として考えた方がよい。(静岡県は非常に交通の利便が良い立地、農業・漁業等山の幸・海の幸に恵まれている)【再掲】	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
45	これから日本の農業が注目される時代が来るので、農業、漁業をうまく取り込んでいくようなことも考えたらよい。	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
46	今の時代、一番強いのは(小学生以下の)子供。子供が行きたいところに、お母さんも、おじいさん、おばあさんも付いて行くし、お金もかける。	地域の独自性 (子供・若者)	
47	県立美術館でやっているキッズを対象とした美術館・博物館を見学するプロジェクトを発展させる必要がある。	地域の独自性 (子供・若者)	
48	静岡には多くの学生や留学生がいる。若い人をどこかで取り込んで活動していくというようにしていかないといけない。地域のエンジンとして働くのは大学や学生である。	地域の独自性 (子供・若者)	
49	ムセイオン静岡の拠点である有度地区は、魅力的な地区であり、人口が増加傾向。若い人の力も借りながら、どうやってさらに発展させようか前向きに考えていったらよい。	地域の独自性 (子供・若者)	
50	東静岡駅周辺に「学住一体化」の構想があったが、現在、それがどのようになっているのかが不明確であ	地域の独自性	

	る。【追加意見】	(子供・若者)		
51	東静岡の南北にある静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡英和学院大学、東海大学を取り込んで発展計画を考えることにより、若者が静岡市に在住を希望すると思われる。【追加意見】	地域の独自性 (子供・若者)		
52	恋人たちも行けるように、吟望台のネーミングを変えると良い。	地域の独自性 (子供・若者)		
53	東静岡は駅近くにあれだけの未開発の土地を持っているところは他になく、県都であることを考えると、もっと有効に人を集める手立てを考えるべき、商業的に何がふさわしいか徹底して考えるべきである。	県都静岡のまちづくり	<p><県都静岡の新拠点にふさわしい地域づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>東静岡、静岡がともに活気</u>が出るような地域づくり ・ 静岡市の3次総との関連性を踏まえた、<u>縣市連携した地域づくり</u> ・ <u>駅近くに残った貴重な未開発の土地</u>であるという視点 	
54	「場の力」とは潜在力、この東静岡の持つ潜在力は、駅近くの未開発の土地であるという視点を忘れてはいけない。	県都静岡のまちづくり		
55	静岡駅周辺がどうなってしまうのかという心配もある。	県都静岡のまちづくり		
56	東静岡をどうするかという時に、静岡はどうなってしまうかということも合わせて考えなければならない。トータルでプラスになればよいが、下手をすると静岡が衰退してしまう可能性もある。東静岡のエリアの中で周辺もプラスになる議論をしないと意味がない。	県都静岡のまちづくり		
57	東静岡に活気が出れば、静岡にも活気が出る。	県都静岡のまちづくり		
58	現在あの静岡駅を表玄関として考えると東静岡の位置づけを明確にして、それぞれが歴史と文化、商業等で独自性を出しつつも、連携できるようにしないと、静岡市街が二分化される可能性がある。【追加意見】	県都静岡のまちづくり		
59	静岡市のコンセプトや開発の方向性と整合を取っていく必要がある。(市の3次総の具体的な内容を取り込んだほうが話が進みやすい。) 市との関連性を意識して議論したい。	県都静岡のまちづくり		
60	東名のスマートインターが出来ることを念頭に、大谷小鹿地区の再開発の計画がある。その中で、スマートインターから清水インターに抜けるような周遊・回遊ルートをつくりたいという話があるので、このような計画も含めて計画を立てないといけない。	県都静岡のまちづくり		
61	主語がない議論は意味がない。行政が、民間がといった漠然とした主語でも良いので。	事業主体		・ 事業の主体をはっきり議論すべき。
62	ロープウェイは県と市(県民と市民)でつくれば良い。	事業主体		

論点Ⅱ：東静岡駅周辺の「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいたたずまいを生み出すまちの機能や、統一感あるデザイン、景観などまちづくりのあり方

No.	有識者会議委員発言要旨	カテゴリー	意見のまとめ
1	これからは都市間競争の時代、東京では都市再生特区を中心に、この規模の計画（品川、豊洲、横浜など）が多くある。他の計画はどのようなものがあるか見ながら、「勝てる計画」にする必要がある。	地域の独自性 (静岡らしさ)	<p><「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいまちづくりのあり方></p> <ul style="list-style-type: none"> 他の計画を見ながら勝てる計画にする必要（都市間競争） <u>新幹線への視覚的メッセージ</u>としての重要性 <u>夢殿ホールは軽やかで半透明で羽衣を着ているようなデザイン</u> <u>豊かな自然、植物、恵みを感じられる拠点</u>（無機質な建物が本当に必要か？） <u>周辺の既存の緑を活かすとともに、集合住宅においても緑化等を進めるなど生活の質の向上を目的としたまちづくり</u> 非日常性と日常性の調和した拠点整備 国際コンペによるグローバルな視野を取り入れたドラマチックな提案 <u>静岡県・静岡市の公共用地を合わせて計画</u>することが不可欠
2	真面目な計画論をやっては駄目で、多少不真面目なところがないと街は滅びる。	その他	
3	新幹線からどのように見えるか、東静岡の県有地・市有地にとって視覚的メッセージとして重要である。	新幹線への視覚的 メッセージ	
4	グランシップは重たく尖った建物であるので、夢殿ホールは軽やかで半透明で羽衣を着ているような感じがよい。	デザイン	
5	東静岡に建物の無機質なものが本当に必要かどうか。そこに行けば豊かな自然、植物、恵みを感じられる拠点であっても良いと思う。	デザイン	
6	東静岡周辺地区の整備は、非日常性（多様性・自然性・審美性・傑出性・固有性・利用性・眺望性）と日常性（歴史性・郷土性・親近性・快適性・視認性）が調和した拠点整備が求められる。有度山を面的エリアの中心に据えた本構想は、気候温暖な優位性を持ち、山の恵みの静岡・海の恵みの清水の個性を明確にし、新たなエリアビジョンが明確にイメージできるのではないかと考えている。誰もが住みたくするおおか都市の再生が可能になるのではないかと考えている。具体的には、静岡県・静岡市の公共用地を合わせて計画することが不可欠である。また、この構想を国際的コンペを行うことによりグローバルな視野を取り入れたドラマチックな提案を求めたいと考えている。【追加意見】	県市の公共用地を 合わせて計画	
7	東静岡拠点整備に向けては、有度山や谷津山、護国神社などの既存の緑を活かした計画が望まれ、現在林立しているマンションなどの集合住宅においても、屋上緑化、壁面緑化等、生活の質の向上を目的にしたまちづくりを検討する。【追加意見】	緑を活用した まちづくり	

論点Ⅲ：東静岡駅南口県有地に整備を見込む「文化力の拠点」のコンセプトや導入すべき機能等

No.	有識者会議委員発言要旨	カテゴリー	意見のまとめ
1	静岡市は県都であり、中核性と求心力を持った場所、今後、県内外から移住を促す意味でも、どのような機能を持っていなければならないかしっかり考えた上で、もしハード整備するならばそれに適したものとする必要はある。さもないと結局ハコモノとなってしまう。	場の求心性 (県外からの人の呼び込み)	<p><拠点機能検討の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点機能の検討にあたり、<u>県内だけではなく、移住も含めて県外からも人を呼込む観点</u>も必要 ・ <u>大都市にはない静岡らしさ、個性・特徴ある発想</u>が必要 ・ <u>「文化力」を誰のためにどう発揮するか</u>イメージしておくべき。 ・ <u>駅近くの未開発の土地</u>であるという視点（商業的にもっと有効に人を集める手立てを考えるべき）
2	静岡は大都市と同じことをしても駄目で、静岡らしさ、個性・特徴がある発想を持つていくことが必要【再掲】	地域の独自性 (静岡らしさ)	
3	既にあるものをイメージしては駄目で、柔軟に考え、今無いものを考えていかなければいけない。【再掲】	地域の独自性 (静岡らしさ)	
4	「文化力」を誰のためにどう発揮するかイメージしたい。（「文化力」により県外から多くの観光、移住を呼び込む。文化力により県内の人々が豊かになるなど。どれをどのくらい意識するか。）【再掲】	地域の独自性 (文化力)	
5	「文化の拠点」の「文化」とは何なのか、誰に向かって発信していくのかを詰めていかないと意見が分散してしまう気がする。また、お金のかけ方、経済効果もそれによって全然違ってくる。【再掲】	地域の独自性 (文化力)	
6	この土地をどのように活用して、誰のために役立てるかという視点をはっきり持った方が良い。	地域の独自性	
7	文化は、静岡市民のため、静岡県民のため、静岡県周辺の人のため、富士山に登山に来る人のため、日本国民のため、世界の市民のため、全部つながっている。	地域の独自性 (文化力)	
8	東静岡は駅近くにあれだけの未開発の土地を持っているところは他になく、県都であることを考えると、もっと有効に人を集める手立てを考えるべき、商業的に何がふさわしいか徹底して考えるべきである。【再掲】	地域の独自性 (経済性)	
9	「場の力」とは潜在力、この東静岡の持つ潜在力は、駅近くの未開発の土地であるという視点を忘れてはいけない。【再掲】	地域の独自性 (経済性)	
10	歴史の観点を捉えるとよい。（歴史を大事にした、歴史をより鮮明に研究しそれらを一大絵巻にするような施設があってもよい。）【再掲】	地域の独自性 (歴史)	
11	恵み（海の恵み、山の恵み、大地の恵み）の豊かさを文化の一つとして捉える視点があるとよい。（恵みそのものを集約できるような施設なりコンセプトが成り立つ。）【再掲】	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
12	これから日本の農業が注目される時代が来るので、農業、漁業をうまく取り込んでいくようなことも考えたらよい。【再掲】	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
13	東静岡に建物の無機質なものが本当に必要かどうか。そこに行けば豊かな自然、植物、恵みが感じられる拠点であつても良いと思う。【再掲】	地域の独自性 (恵みの豊かさ)	
14	いろいろなどころでの「場の力」を活かせる一大拠点をつくとよい。	地域の独自性	
15	今の時代、一番強いのは（小学生以下の）子供。子供が行きたいところに、お母さんも、おじいさん、おばあさんも付いて行くし、お金もかける。【再掲】	地域の独自性 (子供・若者)	
16	経済界から見た大きな課題は少子化であり、子供達を応援する施設や環境（建物にこだわらない。）ができればよい。	地域の独自性 (子供・若者)	
17	東静岡には夢殿ホールをつくり、子供が来て遊ぶような美術館、図書館、おもちゃ等の施設など	地域の独自性	

	が入り子供達が来て一日中遊んで、学校へ行くより面白いというのが良い。	(子供・若者)	<p>静岡ならではの学びができる機能（大学コンソーシアムなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ムセイオン静岡関係の図書館や美術館、大学コンソーシアム、展望ホール、静岡の特産物を使ったレストラン、宿泊施設、夢殿ホールなど ・ 拠点性を高めるコミュニティ・コンプレックスとして図書館、シアター等 ・ 静岡アイデンティティの承継と創造の拠点、グローバル・インテリジェンス・クリエイティブな人材育成の拠点 	
18	お母さん方に、静岡で子供を産んで育ててみたい気持ちにさせるようなものが出来ると素晴らしい。	地域の独自性 (子供・若者)		
19	静岡は子供を大事にしているというメッセージが伝わるようなものを考えるべき。	地域の独自性 (子供・若者)		
20	静岡には多くの学生や留学生がいる。若い人をどこかで取り込んで活動していくというようにしていけないといけない。地域のエンジンとして働くのは大学や学生である。【再掲】	地域の独自性 (子供・若者)		
21	若い人が学べる環境、静岡だからこそうような学びができるということが実現出来ると良い。	地域の独自性 (子供・若者)		
22	「文化力の拠点」には、大学コンソーシアムが入れば良い。若い人が集まるし、大学コンソーシアムでセミナーや講演会をやればよい。	地域の独自性 (子供・学生)		
23	大学コンソーシアムの会員である放送大学も静岡市に拠点が欲しいと考えている。	地域の独自性 (子供・学生)		
24	今、若い世代がなかなか結婚しない。学生が結婚や子育てに対する夢や明るい展望を持てるようにしないといけない。子供も前の段階で止まってしまう。	地域の独自性 (子供・若者)		
25	静岡ならではの特産物や文化もあり、あそこへ行けばそういう気持ち（結婚・子育てしたい）になる、あるいは誰かがいて、そこで、もう少し夢のあるものがつくれたらよい。	地域の独自性 (子供・若者)		
26	ムセイオン関係の施設である図書館や美術館、大学コンソーシアム、展望ホール、静岡の色々な美味しいものが味わえるレストラン等が入り、子供も老人も集う施設があると良い。	導入機能の提案		
27	子供達を中心となり、お母さんも来る、老人も来る、勉強をしたい大学生も来る、上の階には静岡の産物を使った色々な料理が出るレストラン、宿泊施設もあってよい、富士山を巡るシンポジウムは日本平でも夢殿ホールでも良い。	導入機能の提案		
28	拠点性を高めるコミュニティ・コンプレックスとして図書館、シアター等、この空間は、静岡アイデンティティの継承と創造拠点として、グローバル・インテリジェンス・クリエイティブな人材育成の空間拠点となる。【追加意見】	導入機能の提案		
29	静岡市のコンセプトや開発の方向性と整合を取っていく必要がある。（市の3次総の具体的な内容を取り込んだほうが話が進みやすい。）市との関連性を意識して議論したい。【再掲】	県都静岡のまちづくり		<p><県と静岡市が連携した拠点機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡市3次総の具体的な内容の取り込み